

「出歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業案内

人口減少・超高齢社会を迎え、中心市街地や公共交通沿線に都市機能を集積する集約型まちづくりが必要になっています。このため、埼玉県では公共交通を利用しやすくすることで誰もが出歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指し、官民が連携した「出歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業として、次の取組を実施しています。

効果

県民 安心して健康に暮らし続けることができる

事業者 ビジネスチャンスの拡大

行政 多大な公共投資を伴わない共助のまちづくり

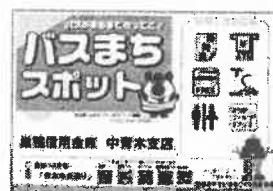
「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度

「バスまちスポット」とは

- ①バス停留所の近くで、バスを気軽に待てる施設(概ね50m圏内)
- ②バスの時刻表を掲示または配布
- ③ステッカーを掲示

「まち愛スポット」とは

- ①バス停留所まで歩くときに休憩できる施設(概ね500m圏内)
- ②ベンチや椅子を設置
- ③ステッカーを掲示



「バスまちスポット」
ステッカー

対象施設 商店、コンビニエンスストア、病院、金融機関、公共施設等

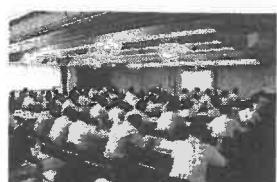
実施場所 県内27市町の390施設(H30.12.17現在)

→ バスマチスポット352施設／まち愛スポット38施設

出歩きやすいまちづくり推進会議

出歩きやすいまちづくりに関する取組を推進するため、

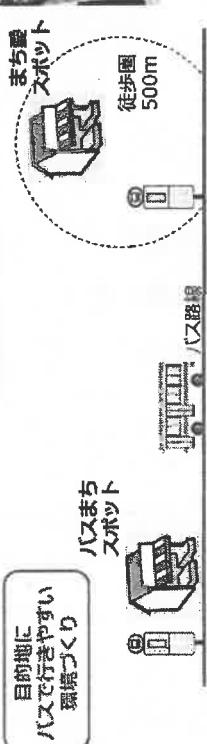
バス事業者、小売事業者、バスロケーションシステム事業者、
市町村などが参加する「出歩きやすいまちづくり推進会議」を
開催しています。



過去の会議の様子

出歩きやすいまちづくり ～バスでつながる～

人口減少・超高齢社会を迎える、中心市街地や公共交通沿線に都市機能を集積する集約型まちづくりが必要になります。このため、埼玉県では公共交通を利用しやすくすることで誰もが歩きやすく、地域とのつながりやすいまちをを目指して運営した「出歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業を行っています。



目的地に
バスで行きやすい
環境つくり
バススポット

「バスまちスポット」「まち愛スポット」とは？

「バスまちスポット」とは、バス停留所の近く（約500m圏内）で、バスを気軽に待てる施設です。座って休憩できるスペースや、トイレの利用などサービスはさまざま。



平成29年3月1日現在、県内25市町に350

箇所あります。
下記のようなステッカーが目印です。バス停近くに貼つてある施設にはお気軽に立ち寄りください。

バスまちスポット

検索



「バスまちスポット」「まち愛スポット」
は、公共施設をはじめ、商店、コンビニエンスストア、病院、金融機関等、年齢を問わず利用できる施設へ、らば、登録が可能です。



ちよつと違うってこと、
ARAKAWA GALENCE



東京バスエスト牛ヶ谷店

自転車の修理や販売、トレーニング設備まで整っている

スポーツサイクルの専門店。

オーナーの馬場隆司さんは、スポーツサイクルのイベントプロデューサーとして全国各地で活動している。

最初は事務所と自転車乗りの遊び場として2011年に開店し、お客様のご要望で徐々に内部の機能を増やしていくという。自転車乗りはもちろんのこと、観光客の道案内にも親切に対応してもらえる。

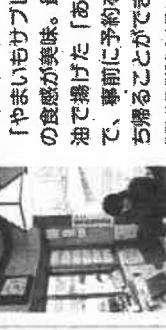


100年前からお菓子の製造販売と、宝くじなどたばこの販売をしている藤川屋。

じどたばこの販売をしていた菓子屋。しかも建物の中では、皇室献上の菓子型トロな品を見ることができます。3年前からや、大阪万博で発売された宝くじなど貴重な品を見ることができます。3年前から始めた無料レンタルサイクルも人気で、今では13台保有し、妻沼聖天山への観光客に重宝されている。最近では観光客にもっと喜んでもらおうと、地元の野菜を使ったジユースの販売もはじめた。



妻沼聖天山の入口すぐの所にある老舗和菓子屋。昭和3年から妻沼聖天山のお土産として地域や観光客に親しまれている。中でも有名なのは地產地消にこだわる「やまいちせブレ」。ふくらはぎサケの食感が美味しい。最近では100%国産の米油で揚げた「あげまんじゅう」も人気で、事前に予約をすると、揚げたてを持ち帰ることができます。



ちよつと違うってこと、

埼玉県都市計画課までお問い合わせください。

0448-830-5337